

平成 23 年 9 月市会定例会が開会！

9月市会定例会が9月27日より10月31日まで、35日間の会期で行われます。前半で一般会計補正予算を含む3件、中盤から後半にかけては平成22年度一般会計・特別会計ならびに公営企業等会計の決算を含む36件の計39件を取り上げます。

平成22年度決算 全会計を合計した歳出決算規模は1兆6220億円で、前年度と比べ513億円の減となりました。一般会計では、3年ぶりに累積収支7億円の黒字となり、過去最大赤字であった20年度30億円から大幅な収支改善がなされました。全会計での連結累積収支では、赤字額が6億円となり、同じく20年度306億円の赤字から300億円の収支改善が図られました。また公営企業についても、経営健全化計画を上回る収支改善が達成されています。しかしながら未だ大変厳しい財政下であり、市民の皆さんが納めた税金が適切に使用されたのか、しっかりと質疑を行います。

補正予算案 今回の補正予算案総額は12億8000万円です。主な内訳は

- ・ 民間保育所整備助成（待機児童ゼロ実現に向けた保育所定員の更なる拡充） 2億 360万円
- ・ 地域包括ケア総合交付金関連事業（介護基盤の整備） 1億4600万円
- ・ 技術の橋渡し拠点の整備（調査・設計） 3500万円
- ・ 東日本大震災対策（被災地への職員派遣の継続） 4400万円
- ・ 災害復旧事業 7700万円

その他主な議案 京都市地域コミュニティ活性化推進条例の制定 京都市・事業者・地域住民の役割と責務を定め、総合的かつ計画的に地域コミュニティの活性化を目指す条例です。

3名が代表質問に立つ！

当議員団を代表し、鈴木マサホ議員（左京区）、山岸たかゆき議員（伏見区）、片桐直哉議員（北区）の3名が順に、10月5日（水）午前10時4分より代表質問に立ちます。議会での傍聴はもちろんのこと、KBS京都テレビでの生中継も行われます。ぜひご覧下さい。

**鈴木マサホ議員**

①門川市政4年と Manifesto の評価・検証②京都水族館（仮称）について③東北大震災と原子力防災④太陽光発電-里親制度とメガソーラー計画⑤岡崎活性化と京都会館再整備⑥公契約条例（要望）

**山岸たかゆき議員**

①平成22年度会計決算報告の総括②財政健全化に向けた産業振興の新たな仕組みづくり③地域コミュニティ活性化の支援④区役所の権限強化⑤東日本大震災後の地球温暖化対策⑥伏見桃山城の活用⑦伏見桃山城運動公園内に子ども連れでも楽しく過ごせる工夫（要望）

**片桐直哉議員**

①共汗の取組の成果と今後の課題②京都をとりまく山の環境保全と森林資源エネルギー活用③小中学校における学期制の改革④地域での高齢者の居場所づくり⑤東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理（要望）⑥山間地での市民の足の確保（要望）

編集後記

新人議員としての勉強も兼ねて、初めての議員団NEWSの執筆となります。9月市会定例会中には、地元神社の秋祭り・地域の運動会など週末には多くの行事も入っており、また11月に予定しています第2回事業仕分けの準備もあります。しばらくはフルスロットルで活動の日々が続きそうです(>_<) **松下真蔵**